

長崎県高等学校総合文化祭で、サイエンス部が最優秀賞を受賞

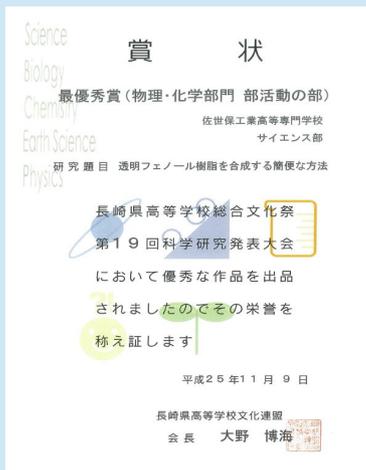
平成25年11月9日(土)長崎大学にて開催された長崎県高等学校総合文化祭(総文祭)の第19回科学研究発表大会で、当校サイエンス部は「透明フェノール樹脂を製造する簡便な方法」という研究で物理・化学部門において最優秀賞を受賞しました。

その結果、九州高等学校生徒理科研究発表大会(九州大会:平成26年2月8～9日に鹿児島で開催)と第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会(全国大会:平成26年8月2～4日に「つくば国際会議場」で開催)への長崎県代表に推薦され出場が決定しました。

長崎県高等学校文化連盟(通称:高文連)への参加は今年度後期から認められるようになり、サイエンス部(理化学部を改称)は初出場での快挙でした。

現在、サイエンス部は部員数が30名を超え、各分野で活発な研究を行っています。これから出場する大会でも、長崎県代表として今回以上の発表ができるようにさらに研究を推し進め、プレゼンテーションの力も高めていきたいと思ひます。同窓会の皆様からの応援をよろしくお願い致します。

(サイエンス部顧問 一般科目・化学科・須田淳一郎)



(※記事の一部は当校学校ホームページより抜粋)